

平成25年3月31日

陸前高田市議会議長 伊藤明彦様

陸前高田市議会新志会

会長 菅原 悟

政務調査活動報告書

政務調査費に関する取り扱い要綱第6条第2項の規定により、平成24年度政務調査活動報告をいたします。

記

1. 調査事業 ①

(1) 実施日 平成24年10月9日(火)～12日(金)

(2) 場 所 愛媛県松山市 ひめぎんホール

愛媛県松山市 防災センター

(3) 参加者 会長 菅原 悟、事務局長 佐々木一義、会員 鵜浦昌也

会員 伊藤明彦、顧問 菅野 稔 以上5名

(4) 行 程

10月9日(火) 陸前高田市 6:30 発～一ノ関駅 8:27 発～東京駅着 10:36～
浜松町～モノレール～羽田空港 12:30 発～松山空港着 14:00
～ホテル

10月10日(水) ホテル出発～ひめぎんホール着～「第7回全国紙議会議長
会研究フォーラム in 松山」(12:00～18:10 終了)～ホテル

10月11日(木) ホテル出発～ひめぎんホール着～「第7回全国紙議会議長
会研究フォーラム in 松山」(8:30～11:30 終了)～昼食～松山
市防災センター「防災センター施設・体験研修」(13:30～
14:30)～ホテル



10月12日(金) ホテル出発～今治～松山空港 14:45 発～羽田空港 16:10 着
～モノレール～浜松町～東京駅 18:28 発～一ノ関駅 20:51 着
～陸前高田市役所 22:00 着

(5) 調査項目

1. 第7回市議会議長会研究フォーラム in 松山
基調講演・パネルディスカッション・課題討議
2. 愛媛県松山市防災センター 施設研修並びに実技体験

(6) 調査概要

10月9日は、移動日。

10月10日は、愛媛県松山市ひめぎんホール会場で、第7回市議会議長会主催の研究フォーラム in 松山に出席しました。基調講演として、前総務大臣・慶応義塾大学法学部教授片山善博先生からは、「地方自治の課題と議会のミッション」ト題して、義務教育と議会、「地域主権改革」と議会、首長の「パフォーマンス」と議会の役割、市民に開かれ、市民に信頼される議会の4項目について約1時間にわたり基調講演をいただきました。

その後のパネルディスカッションでは「地方議会における政策形成の在り方について」と題し、コーディネーターの中央大学経済学部教授佐々木信夫氏から、第三期の時代を迎えた地方議会及び地方議会の役割について講演をいただきました。各議員、各議会がパラダイム転換に気づき、変わろうとしているかどうか重要であり、旧態依然とした活動を続ける議会は成長しないとのことでした。

江藤俊昭山梨学院大学法学部教授からは、政策形成をめぐる地方議会の現状として、地方議会の立法機能のあり方、地方議会・議員の今後のあり方等について説明がなされました。

金井利之東京大学公共政策大学院教授からは、政策形成をめぐる自治体議会の現状として、立法機関として求められている役割、政策能力を高める議会の考え方について講演をいただきました。

坪井ゆづる朝日新聞仙台総局長・東北復興取材センター長からは、朝日新聞・自治体議会アンケートを基に説明がありました。

寺井克之松山市議会議長からは地方議会における政策形成の在り方についてお話がありました。

10月11日は同会場にて、課題討議、大震災における議会の役割と題し、平田

武南相馬市議長より、東日本大震災福島県南相馬市の被害の状況、国からの原発事故による避難指示等の状況や議会の活動状況、仮設住宅の現地調査、議会による主な要望活動等が報告されました。また、渡邊名取市議会前議長からは、東日本大震災の発生時の名取市議会の対応について発表されました。今後の活動については11月5日から8日までの4日間にわたり、仮設住宅集会場を含め市内16ヵ所を会場として議会懇談会の開催を予定しているが、これからも市民の皆様との意見交換等を踏まえ、震災復興の進捗に合わせた調査活動に取り組んでいくことを話されました。

続いて、東日本大震災後の陸前高田市議会活動報告として伊藤明彦陸前高田市議会議長から市の概要、被災状況、議会改革の取組等が報告されました。

次に、地方議会と危機管理と題して、中邨章明治大学名誉教授（明治大学危機管理研究センター代表）より、2005年12月調査結果の資料を基に説明がなされました。

午後は、松山市防災センターへ訪問し、松山市の防災対策等の説明を受けました。避難体験コーナーでは誘導灯をたよりに煙の中を避難する体験や消火体験コーナーでは消火器での体験をさせていただき、その後東日本大震災について意見交換をさせていただきました。

以上2日間の視察研修の報告とさせていただきます。この貴重な視察を糧に陸前高田市の防災施策に反映させていただきます。

2. 調査事業 ②

- | | |
|---------|---|
| (1) 実施日 | 平成24年11月27日(火)～28日(水) |
| (2) 場 所 | 宮城県塩釜市魚市場、宮城県七ヶ浜町役場 |
| (3) 参加者 | 会長 菅原 悟、事務局長 佐々木一義、会員 鵜浦昌也
会員 伊藤明彦、顧問 菅野 稔 |
| (4) 行 程 | 11月27日(火) 陸前高田市役所 11時40分発～気仙沼市～
石巻市～塩釜魚市場～多賀城ホテル
11月28日(水) ホテル出発～七ヶ浜町被災現場視察～午後
1時30分～2時40分(七ヶ浜役場内研修)
～仙台港北～一ノ関市～陸前高田市 18時45
分着 |

(5) 調査事項 七ヶ浜町被災状況及び復旧・復興への取り組みについて

(6) 調査概要

1 1月27日は移動日。

1 1月28日は午前中に七ヶ浜町内被災状況を視察し、午後七ヶ浜役場を訪問しました。最初に佐藤梶信七ヶ浜町議会議長の歓迎の挨拶を受け、その後、菅原悟新志会会長の挨拶を踏まえ、七ヶ浜町の被災状況及び復旧・復興への取り組み等について説明を頂きました。議会と行政が一体となって復興に向け進んでいる姿を見せられました。

3. 調査事業 ③

(1) 実施日 平成24年12月26日(水)

(2) 場 所 陸前高田市内

(3) 参加者 会長 菅原 悟、事務局長 佐々木一義、会員 鷗浦昌也
会員 伊藤明彦、顧問 菅野 稔

(4) 行 程 午後1時30分陸前高田市役所発～本丸公園～両替漁港～広田漁港
～かわむら岩工場(15時30分～16時50分工場内施設説明)
～陸前高田市役所着

(5) 調査事項 管内漁港現地調査並びに工場見学

(6) 調査概要

最初に本丸公園において公園の現状を視察。その後小友町両替漁港及び広田町漁港に移動し、陸前高田市農林水産部水産課の平立身課長補佐より、漁港の被害状況と復旧工事について説明を受けました。

その後は、長部水産加工団地に移動し、(株)かわむら岩工場川村賢寿社長に挨拶し、(株)加和喜フーズ村上営業課長より加和喜フーズの工場内の設備や作業状況の説明を受けました。その後は、かわむら岩工場内のイクラ製品や作業状況を見学しました。川村社長との懇談では、事業を拡張しているが働く人手が足りない現状で困っているということでした。

4. 調査事業 ④

(1) 実施日 平成25年2月27日(水)

(2) 場 所 陸前高田市内

- (3) 参加者 会長 菅原 悟、事務局長 佐々木一義、会員 鵜浦昌也
会員 伊藤明彦、顧問 菅野 稔
- (4) 行程 午後1時20分陸前高田市役所出発～滝の里工業団地プレカット
工場(1時30分～3時00分)～(株)オサベフーズ(3時10分～3
時45分)～酔仙酒造株式会社(4時20分～5時45分)
- (5) 調査事項 産業振興について管内3社企業視察
- (6) 調査概要

滝の里工業団地プレカット工場では、製材から組立てまでの一連の流れ等、工場内で作業現場を見学しながら説明を受けました。従業員は180名ほどで新年度採用予定は20名とのことでした。従業員の割合としては陸前高田市50パーセント、大船渡市30パーセント、住田町20パーセントで、陸前高田市の産業振興に力を入れている姿が見られ元気づけられました。

(株)オサベフーズでは、澤社長、千葉工場長に工場内の機械設備の説明をいただき、従業員の働いているところを見せていただきました。今後の課題としては従業員の確保が大変だということでした。

酔仙酒造では、金野社長に工場内の一連の流れ等の現場を見学しました。本社等は陸前高田市にとのことで安心しました。

当市でも議会と行政が一丸となって、多くの市民、地権者のご理解を頂きながら一日も早く復興させるため視察を糧に精進してまいりますことを申し上げ、新志会の4回にわたる行政視察活動報告とさせていただきます。